大腸菌eColiを培養し 増殖過程を観察する-1

GC/SAWは、揮発性物質・半揮発性物質の時間的推移を 長時間にわたり連続的にモニターすることが可能です。 ここでは大腸菌eColiを37 で15時間にわたり培養し、 15分毎にヘッドスペースをサンプリングし、大腸菌の 増殖状態を観察しました。なお測定時間は20秒で実施 しました。

この連続測定で、培養開始時に存在が認められなかった 保持時間11.60秒付近の物質の容量(周波数)が時間の 経過とともに顕著に変化することに注目し、この物資 の周波数変化と半対数よりこの培地での増殖速度を推定 しました。

データ説明

Page 2-3 (連続データから抜粋):

- a.開始時17:49pmから23:35pmの約6時間の連続データ。
- b.8時間後0:45amから2:00amまでの90分の連続データ。
- c.7:46amから終了時9:01amまでの90分の連続データ。

Page 4:開始時(赤色)と15時間後の終了時(黒色) のデータ比較。開始時のデータは培地自体のヘッド スペースと思われる。

Page 5:

- a,保持時間11.60秒付近の周波数変化プロット。
- b & c. 半対数による増殖速度の推定。

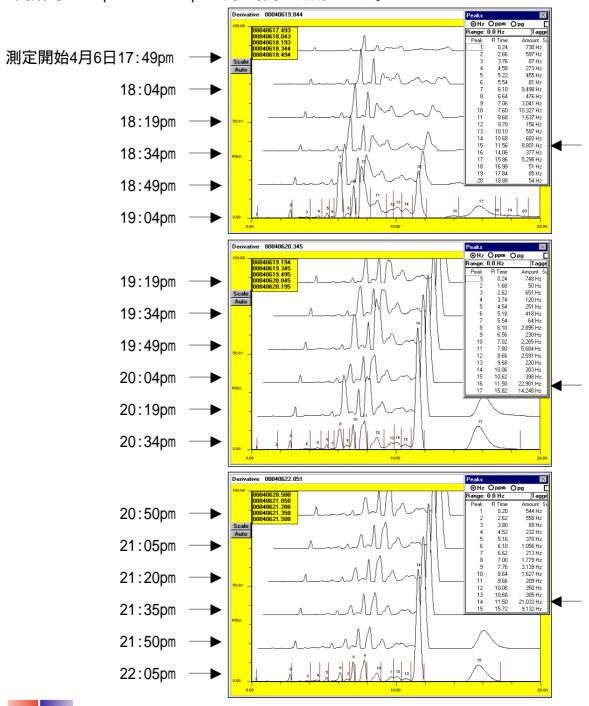




Electronic Sensor Technology www.estcal.com EST Tokyo Liaison Office

大腸菌eColiを培養し 増殖過程を観察する-2 連続測定-1

a. 開始時17:49pmから23:35pmの約6時間の連続データ。

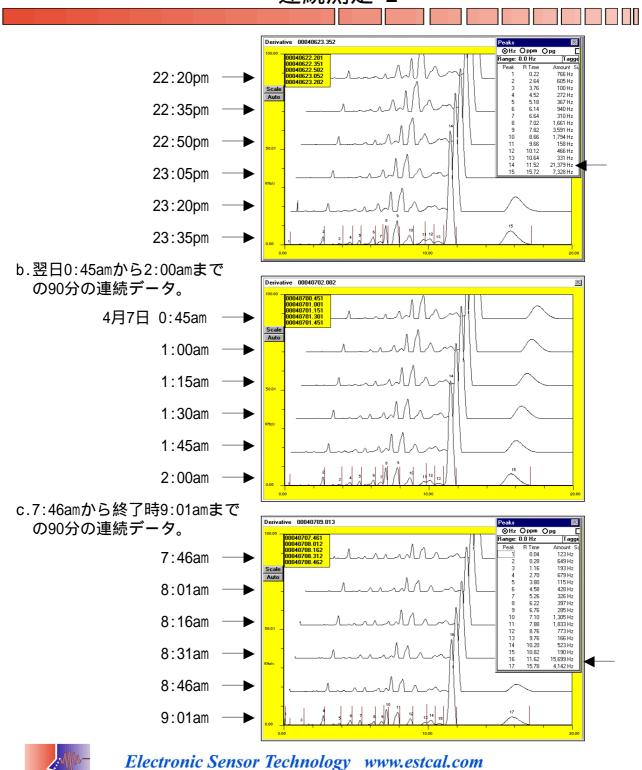




Electronic Sensor Technology www.estcal.com EST Tokyo Liaison Office

大腸菌eColiを培養し 増殖過程を観察する-3

連続測定-2

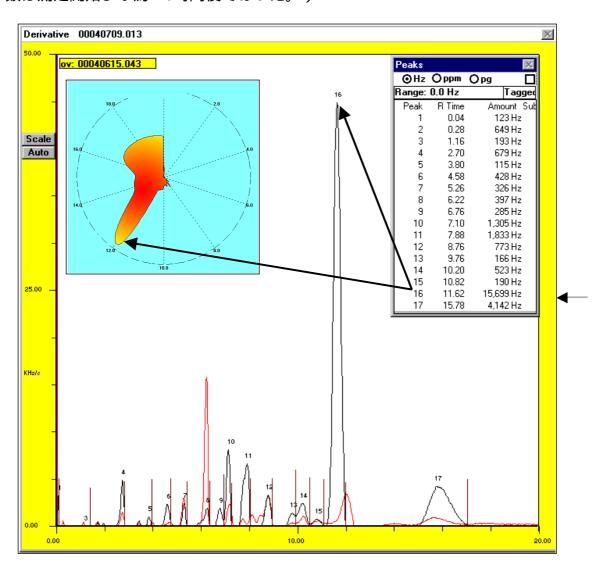




EST Tokyo Liaison Office

大腸菌eColiを培養し 増殖過程を観察する-4 開始時と終了時のデータ比較

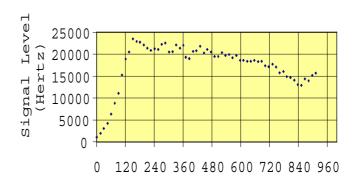
開始時(赤色)と15時間後の終了時(黒色)のデータ比較。開始時に認めら れなかった保持時間11.60秒付近(Peak No.16)の物質の周波数が終了時には 15,699Hzに増大している。(次ページで解るようにこの保持時間の最大周波 数は測定開始より約2.5時間後であった。)



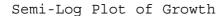


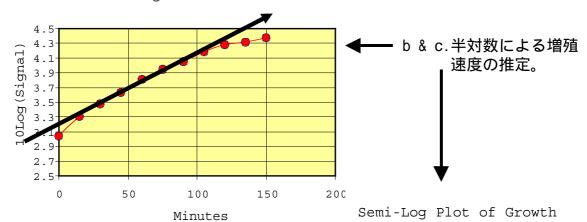
大腸菌eColiを培養し 増殖過程を観察する-5 周波数変化プロットと半対数グラフ

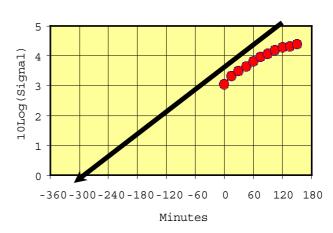
a,保持時間11.60秒付近(No.16) の周波数変化プロット



Time (minute









Electronic Sensor Technology www.estcal.com EST Tokyo Liaison Office